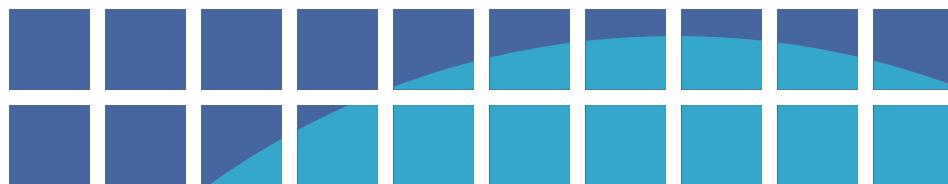


第 131 期

中間報告書

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)



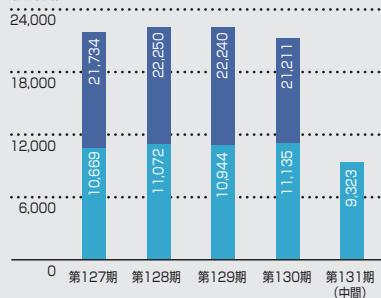


# Financial Highlights

## 連結財務ハイライト

### ◎営業収益

(百万円)



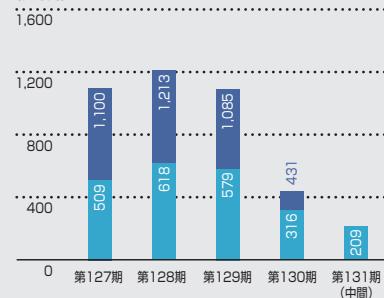
### ◎営業利益

(百万円)



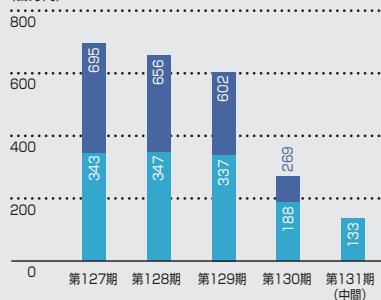
### ◎経常利益

(百万円)



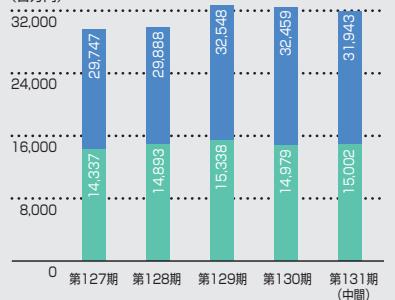
### ◎当期純利益

(百万円)



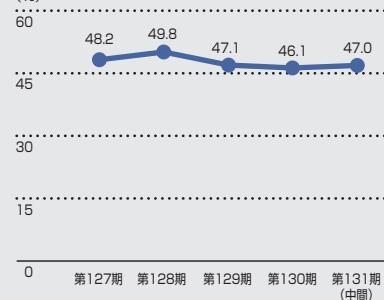
### ◎総資産・純資産

(百万円)



### ◎自己資本比率

(%)



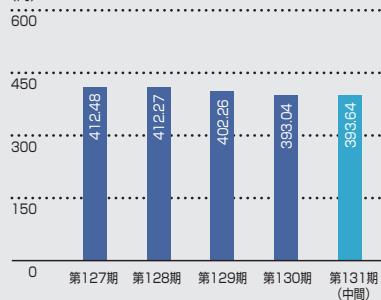
### ◎自己資本利益率\*

(%)



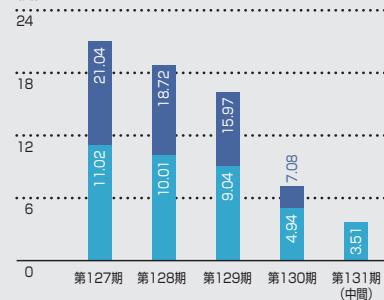
### ◎1株当たり純資産額

(円)



### ◎1株当たり当期純利益

(円)



\*自己資本利益率のみ中間期比較です。



# To Our Shareholders

株主の皆様へ

## 関東および中部圏を拠点として、 きらりと光る総合物流企業を目指す。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、ここに当社グループ第131期中間期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の中間報告書をお届けいたします。

### 営業の概要

当中間連結会計期間における日本経済は、世界的経済危機のなか、一部の業種において、在庫調整の進捗や海外経済の持ち直しにより輸出と生産に回復の兆しが見られつつあります。一方、設備投資は減少を続け、雇用・所得環境は厳しさを増し、景気回復への道筋は依然として不透明な状況で推移しております。

物流業界におきましては、産業界の生産調整や在庫調整により、保管残高は漸減傾向で推移いたしました。また、貨物取扱高においても、輸出入貨物・国内輸送貨物ともに、減少傾向となりました。

このような事業環境の下、当社グループは、『共生・健全・発展』の三つのキーワードを念頭に、引き続き経営資源の「選択と集中」を推進し、営業力の強化を図りながら業務品質、経営効率の向上に努めてまいりました。

平成20年8月に稼働いたしました名古屋北営業所大口倉庫（愛知県丹羽郡大口町）および平成21年4月に増設いたしましたスーパーマーケット向け配送センター（愛知県東海市）は、期初よりフル稼働しております。しかしながら、名古屋港を中心に取り組んでおります輸出入貨物取扱いの回復は、遅れ気味であります。

この結果、当中間連結会計期間の連結営業収益は93億2千3百万円（前年同期比16.3%減）となりました。連結経常利益は2億9百万円となり、前年同期比1億7百万円（△33.9%）の減益となりました。また、特別損益を加減いたしました結果、連結中間期純利益は1億3千3百万円となりました。

平成21年12月



代表取締役会長 木全 英一



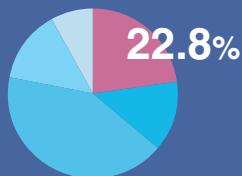
代表取締役社長 白石 好孝



# Review of Operations

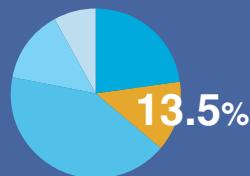
## 各部門の概況

### 物流事業 倉庫部門



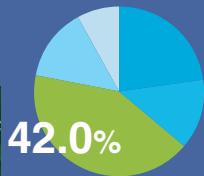
企業の生産・在庫調整が進展したことおよび消費の低迷により、取扱・在庫量ともに前年を下回る結果となり、倉庫貨物取扱高は、100万2千トン(前期比14.3%減)、保管貨物期中平均月末残高は、13万6千トン(前期比6.3%減)となりました。この結果、営業収益は21億2千1百万円となり、前期に比べて1億3千1百万円(△5.8%)の減収となりました。

### 物流事業 港湾運送部門



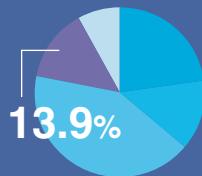
世界経済の低迷および円高の影響により米国向けを中心に輸出貨物が減少したこと、また、消費の低迷により日用品など輸入貨物が減少したことにより港湾貨物総取扱高は85万1千トン(前期比36.2%減)となりました。この結果、営業収益は12億5千8百万円となり、前期に比べて6億8千9百万円(△35.4%)の減収となりました。

### 物流事業 陸運部門



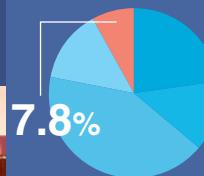
消費の低迷と輸出入貨物の取扱いの減少などにより、陸上運送取扱高は93万2千トン(前期比16.0%減)となりました。この結果、営業収益は、39億1千7百万円となり、前期に比べて7億3千6百万円(△15.8%)の減収となりました。

### 物流事業 その他の部門



円高や就航路線の減少などにより航空貨物の取扱いが大幅に減少いたしました。この結果、営業収益は13億2百万円となり、前期に比べて2億3千7百万円(△15.4%)の減収となりました。

### 不動産事業



駐車場等の稼働が依然として低調に推移し、営業収益は7億2千3百万円となり、前期に比べて1千6百万円(△2.2%)の減収となりました。

## 通期の見通し

わが国経済の先行きは、海外経済や国際金融資本市場の回復もあり、持ち直していく姿が想定されますが、円高圧力の高まりや株価の軟化等により企業収益が圧迫されて景気が下振れするリスクも考えられ、不透明な状況が続き、景気回復にはある程度の期間を要するものと思われれます。

当社グループは引き続き、「もの」づくりと人の「暮らし」を支え、社会から選ばれ続ける物流企業として、安全の確保と社会との共生を図りつつ、物流業務全般を受注する営業の拡大を行うことにより、株主各位のご期待にこたえてまいる所存でございます。

通期の営業収益は、物流事業では、倉庫部門における新規貨物の取扱いと既存取扱貨物の再配置が寄与するものの、港湾運送部門における輸出入貨物取扱いの回復の遅れ、不動産事業では、有料駐車場稼働率の低下等により、200億円を予定しております。

当期の配当金につきましては、1株につき中間配当金3円50銭、期末配当金3円を予定し、年間配当金は前期と同額の1株につき6円50銭を考えております。

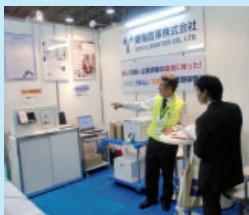
株主の皆様におかれましては、なにとぞ引き続き格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## トピックス

### メッセナゴヤ

平成21年11月11日から14日までの4日間にわたり、「安全・安心・信頼」をテーマに様々な企業・団体が情報発信を目的に参加。当社も、情報セキュリティの観点から参加いたしました。

メッセナゴヤとは「2005年に開催された「愛・地球博」の理念を継承する事業としてはじまった国際総合見本市」です。



### 名証IRエキスポ2009

平成21年7月17日・18日の両日、名古屋市中小企業振興会館（名古屋市千種区）において開催された、名古屋証券取引所主催の「名証IRエキスポ2009」に出展いたしました。今回で4回目の出展となりました。当日は、数多くの個人投資家の皆様に当社の説明を聞いていただきました。年々、当社の認知度が上昇していることもわかり、継続的なIR活動の必要性を改めて認識しました。





# Consolidated Financial Statements

## 中間連結財務諸表

### ◎中間連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当中間期	前期
	[平成21年 9月30日現在]	[平成21年 3月31日現在]
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>5,069,686</b>	<b>5,441,423</b>
現金及び預金	1,806,674	2,088,401
受取手形及び営業未収金	2,481,177	2,577,573
商品及び製品	1,694	0
仕掛品	849	204
原材料及び貯蔵品	8,979	9,347
その他	771,876	769,210
貸倒引当金	△1,565	△3,314
<b>固定資産</b>	<b>26,873,564</b>	<b>27,017,768</b>
<b>(有形固定資産)</b>	<b>21,188,021</b>	<b>21,345,874</b>
建物及び構築物(純額)	12,264,865	11,989,892
土地	7,128,385	7,093,385
その他(純額)	1,794,770	2,262,596
<b>(無形固定資産)</b>	<b>244,613</b>	<b>280,828</b>
<b>(投資その他の資産)</b>	<b>5,440,929</b>	<b>5,391,066</b>
投資有価証券	3,657,081	3,563,576
その他	2,025,549	2,069,898
貸倒引当金	△241,701	△242,409
<b>資産合計</b>	<b>31,943,250</b>	<b>32,459,192</b>

#### 資産の部

長期借入金の返済に伴う預金の減少、減価償却による固定資産の減少等により、資産合計は前期末比5億1千5百万円の減少となりました。

(単位:千円)

科目	当中間期	前期
	[平成21年 9月30日現在]	[平成21年 3月31日現在]
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>5,145,862</b>	<b>5,119,807</b>
支払手形及び営業未払金	1,077,876	1,109,317
短期借入金	3,316,380	3,273,288
未払法人税等	64,729	36,109
引当金	204,422	221,384
その他	482,455	479,709
<b>固定負債</b>	<b>11,795,371</b>	<b>12,359,559</b>
長期借入金	8,350,940	8,871,506
引当金	2,510,547	2,524,557
退職給付引当金	2,387,167	2,391,177
その他の引当金	123,380	133,380
その他	933,884	963,495
<b>負債合計</b>	<b>16,941,234</b>	<b>17,479,367</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>14,765,124</b>	<b>14,746,244</b>
資本金	3,412,524	3,412,524
資本剰余金	2,179,015	2,179,051
利益剰余金	9,458,682	9,439,422
自己株式	△285,098	△284,754
<b>評価・換算差額等</b>	<b>236,892</b>	<b>233,580</b>
その他有価証券評価差額金	236,892	233,580
<b>純資産合計</b>	<b>15,002,016</b>	<b>14,979,825</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>31,943,250</b>	<b>32,459,192</b>

#### 負債の部

長期借入金の減少等により、負債合計は前期末比5億3千8百万円の減少となりました。

## ◎中間連結損益計算書

(単位:千円)

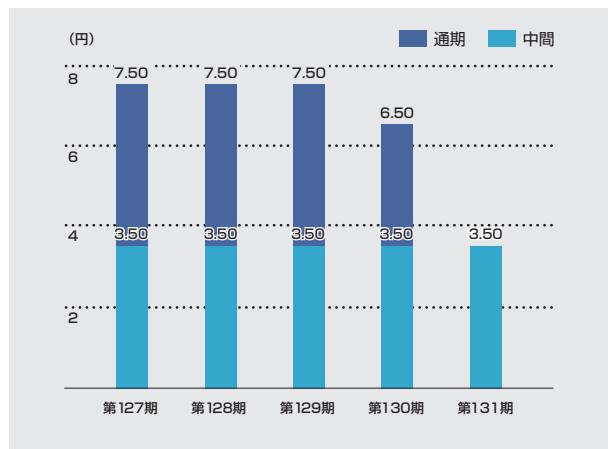
科目	当中間期	前中間期
	[自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月 30日]	[自 平成20年4月 1日 至 平成20年9月 30日]
営業収益	9,323,915	11,135,163
営業原価	8,710,121	10,407,178
営業総利益	613,793	727,984
販売費及び一般管理費	403,040	428,673
営業利益	210,752	299,310
営業外収益	116,627	114,862
営業外費用	118,077	97,520
経常利益	209,303	316,653
特別利益	76,074	4,838
特別損失	68,842	41,979
税金等調整前中間純利益	216,534	279,512
法人税、住民税及び事業税	48,950	118,178
過年度法人税等戻入額	-	△4,278
法人税等調整額	33,985	△22,723
中間純利益	133,598	188,336

## ◎中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当中間期	前中間期
	[自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月 30日]	[自 平成20年4月 1日 至 平成20年9月 30日]
営業活動によるキャッシュ・フロー	849,127	627,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	△532,079	△2,036,691
財務活動によるキャッシュ・フロー	△596,893	1,214,144
現金及び現金同等物の増減額	△281,727	△195,255
現金及び現金同等物の期首残高	2,088,401	1,959,582
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,806,674	1,764,327

## ◎配当額



## -----当冊子の表記について-----

金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されたことにより、表記内容が変更されていますが、当冊子では株主様の利便性を考慮し、一部従前の表記を用いております。

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は18億6百万円であり、前期末比2億8千1百万円の減少となりました。

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

主として税金等調整前中間純利益及び減価償却費による資金の留保により、資金収支は8億4千9百万円の増加（前年同期比2億2千1百万円の収入増加）となりました。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

主として有形固定資産取得のための支出により、資金収支は5億3千2百万円の減少（前年同期比15億4百万円の支出減少）となりました。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

主として長期借入金の返済により、資金収支は5億9千6百万円の減少（前年同期比18億1千1百万円の支出増加）となりました。



# Non-Consolidated Financial Statements

## 中間財務諸表

### ◎中間貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当中間期	前中間期
	[平成21年 9月30日現在]	[平成20年 9月30日現在]
<b>資産の部</b>		
流動資産	4,237,852	4,709,417
固定資産	23,986,236	25,974,426
有形固定資産	19,104,602	20,130,754
無形固定資産	226,824	285,838
投資その他の資産	4,654,809	5,557,833
<b>資産合計</b>	<b>28,224,089</b>	<b>30,683,843</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,862,449	7,652,937
固定負債	9,954,123	9,963,315
<b>負債合計</b>	<b>15,816,573</b>	<b>17,616,252</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	12,170,634	12,480,888
評価・換算差額等	236,882	586,702
<b>純資産合計</b>	<b>12,407,516</b>	<b>13,067,590</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>28,224,089</b>	<b>30,683,843</b>

### ◎中間損益計算書

(単位:千円)

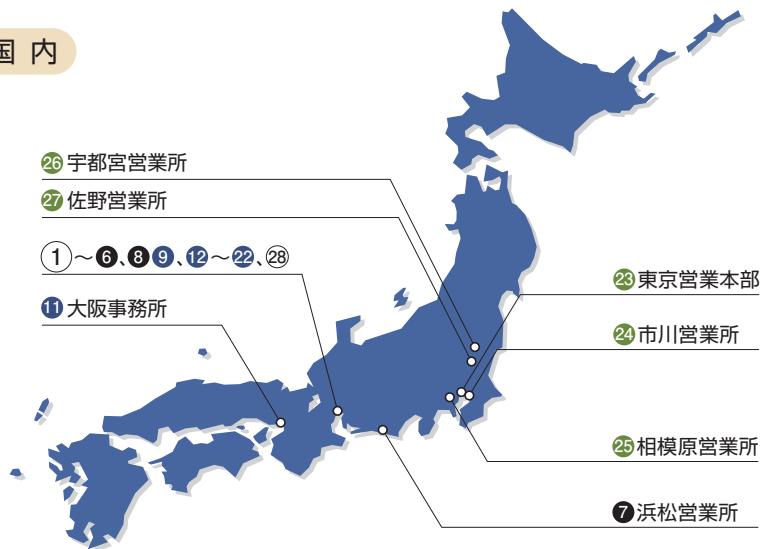
科 目	当中間期	前中間期
	[自平成21年4月1日 至平成21年9月30日]	[自平成20年4月1日 至平成20年9月30日]
<b>営業収益</b>	<b>7,330,623</b>	<b>8,813,842</b>
営業原価	6,886,395	8,327,615
<b>営業総利益</b>	<b>444,228</b>	<b>486,227</b>
販売費及び一般管理費	318,393	333,394
<b>営業利益</b>	<b>125,834</b>	<b>152,832</b>
営業外収益	85,785	94,020
営業外費用	116,716	100,461
<b>経常利益</b>	<b>94,903</b>	<b>146,392</b>
特別利益	73,682	1,128
特別損失	62,340	67,039
<b>税引前中間純利益</b>	<b>106,245</b>	<b>80,481</b>
法人税、住民税及び事業税	9,178	42,375
過年度法人税、住民税及び事業税	—	△3,156
法人税等調整額	30,351	△18,887
<b>中間純利益</b>	<b>66,715</b>	<b>60,149</b>



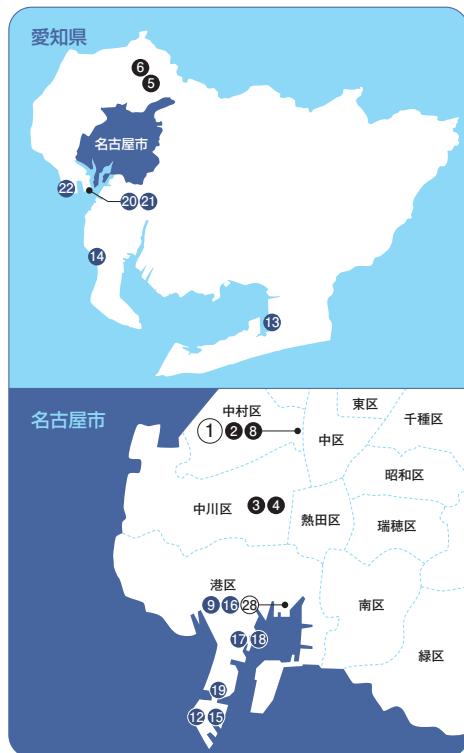
# Group Network

グループネットワーク

## 国内



## 海外



## 主要な拠点

- ① 本社
- ② 国内営業本部
- ③ 名古屋営業所
- ④ 清川倉庫
- ⑤ 小牧営業所  
インター1号倉庫、  
インター2号倉庫、南倉庫
- ⑥ 名古屋北営業所
- ⑦ 浜松営業所
- ⑧ トランクルーム部
- ⑨ 国際営業本部  
[海運部・輸入部・輸出处]  
国際営業推進部
- ⑩ 上海事務所
- ⑪ 大阪事務所
- ⑫ 住化物流営業所
- ⑬ 豊橋物流センター営業所
- ⑭ セントレア営業所
- ⑮ 現業管理部
- ⑯ 入船倉庫
- ⑰ 稲永倉庫
- ⑱ 潮尻倉庫
- ⑳ 金城橋倉庫
- ㉑ 飛島ふ頭1号倉庫
- ㉒ 飛島ふ頭3号倉庫
- ㉓ 東京営業本部
- ㉔ 市川営業所
- ㉕ 相模原営業所
- ㉖ 宇都宮営業所
- ㉗ 佐野営業所
- ㉘ 国際流通センター倉庫
- ㉙ 弥富ふ頭倉庫

● 国内営業本部管轄 ● 国際営業本部管轄 ● 東京営業本部管轄

## 主要な子会社

★連結子会社 ☆非連結子会社

- ㉚ 東陽物流(株)★  
資本金:450百万円 出資比率:100%  
事業内容:港湾運送事業・貨物自動車運送事業
- ㉛ TOYO LOGISTICS(S)PTE.LTD.☆  
資本金:1,000千シンガポールドル 出資比率:100%  
事業内容:複合輸送業・輸出入貨物取扱
- ㉜ TOYO LOGISTICS AMERICA, INC.☆  
資本金:300千ドル 出資比率:100%  
事業内容:複合輸送業・輸出入貨物取扱



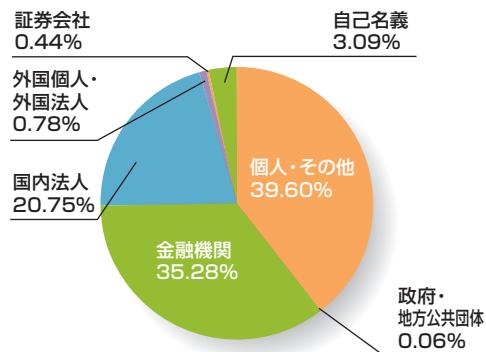
# Stock Information

株式の状況 (平成21年9月30日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	39,324,953株
株主数	4,816名

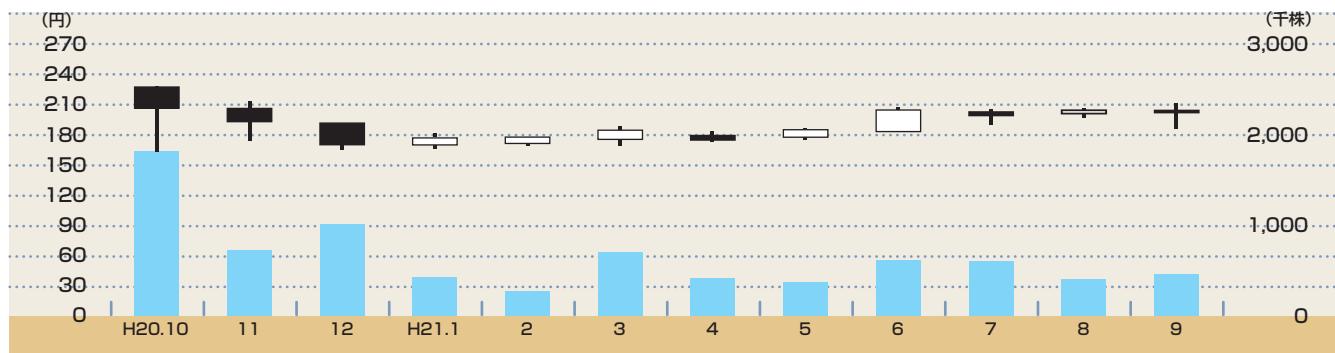
## 所有者別持株状況



## 大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,472	3.74
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,470	3.74
三井住友海上火災保険株式会社	1,353	3.44
東陽倉庫株式会社	1,214	3.09
第一生命保険相互会社	1,172	2.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,114	2.83
株式会社中京銀行	1,081	2.75
中京テレビ放送株式会社	1,000	2.54
明治安田生命保険相互会社	976	2.48
あいおい損害保険株式会社	764	1.94

## 株価と出来高の推移





# Corporate Data

## 会社概要 (平成21年9月30日現在)

### 商号

商号：東陽倉庫株式会社 (TOYO LOGISTICS CO.,LTD.)

所在地：名古屋市千種区名駅南二丁目6番17号

事業：総合物流事業・不動産事業

設立：大正15年3月13日

資本金：3,412百万円

### 従業員の状況 (企業集団の従業員数)

従業員数 (人)	632 (328)
----------	-----------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時従業員数は ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

### 役員 (平成21年9月30日現在)

代表取締役会長 (C.E.O.)：木全 英一

代表取締役社長 (C.O.O.)：白石 好孝

代表取締役(常務執行役員)：武藤 正春

取締役(常務執行役員)：今井 和光

取締役(常務執行役員)：白石 喜彦

取締役：辻本 武

取締役：佐藤 修三

常勤監査役：水野 和仁

監査役：滝 茂夫

監査役：村橋 泰志

上席執行役員：山岸 博之

上席執行役員：近藤 直彦

上席執行役員：武川 元保

執行役員：小川 伸樹

執行役員：伊藤 茂寿

### ホームページのご案内

<http://www.toyo-logistics.co.jp/>

当社のホームページでは、事業内容や会社概要のほか、「投資家の皆様へ」のサイトでは、IRに関するニュースリリース、報告書や株主の皆様からの「よくあるご質問」のコーナーも設けております。

どうぞお気軽にアクセスしてみてください。



# 株 主 メ モ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
剰余金の配当の基準日	期末配当：3月31日	中間配当：9月30日
定時株主総会	6月下旬	
単元株式数	1,000株	
公告の方法	当社ホームページ ( <a href="http://www.toyo-logistics.co.jp/">http://www.toyo-logistics.co.jp/</a> ) に掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により上記において提供できないときは、日本経済新聞に掲載いたします。	
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部 ☎ 0120-78-2031 (フリーダイヤル)	
上場市場	東京証券取引所・名古屋証券取引所 (各市場第一部)	

---

## お知らせ

### 1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 2. 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 3. 上場株式配当等のお支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正（平成20年4月30日法律第23号）により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。

配当金領収証にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

### 4. 株主様のご住所・お名前に関する文字についてのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前としてご登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。